令和 5 年度 一般社団法人日本在宅看護学会 第 1 回社員総会次第

日時:令和5年6月19日(月)17:30~18:30 場所:聖路加国際大学本館36号室+Zoom によるハイブリッド開催

議題

【第1号議案】令和4年度社員総会議事録の確認	資料1
【第2号議案】令和4年度 事業報告	資料 2,資料 3
【第3号議案】令和4年度 収支決算報告	資料 4
【第4号議案】第13回日本在宅看護学会学術集会準備状況	資料 5
【第5号議案】第 14 回日本在宅看護学会学術集会長の選任	資料 6
【第6号議案】令和5年度事業計画	資料7
【第7号議案】令和5年度収支予算	資料8

【第1号議案】

令和4年度一般社団法人日本在宅看護学会 第1回社員総会議事録

日時: 令和4年6月20日(月)午後5時00分

場所:東京医療保健大学船橋キャンパス演習室 210+Zoom による遠隔開催

日格代議員数:22 名(本人会場出席:1 名,本人遠隔出席:1 名、委任状出席:4 名),欠席代議員数:4 名 代議員数:26 名

: (会場) 山田雅子 (Zoon) 石田千絵、青柳道子、尾崎童子、小野岩菜子、角田直枝、柏木聖代、川添高志、酒井呂子、佐藤直子、共田貴美枝、鹿内あずさ、藁有桂、髙砂裕子、

竹森志保、蒔田寛子、吉江悟

委 任: 状 : 岩本大希、大橋奈美、佐藤美穂子、森下安子、山本則子

:秋山正子、萱間真美、柴田三奈子、本田彰子 欠席

出席役員:理事(会場)清水準。、山田雅子 (Zoom)、小野若菜子、角田直枝、柏木型代、川添高志、酒井美絵子、高砂裕子、西村忠理奈

監事 (Zoom) 棚橋さつき

定款の定めにより山田理事長が議長となり、本総会が Web 会議システムを利用して行われる旨を述べ、会場と Web による出席者全員が画像、音声に異状がないことを確認し、代議員の過半数の出 席が得られており、本総会の開催が成立することが宣言された。

また、議事練署名人について議場から推薦がなかったため、議長により、代議員 - 柏木聖代、同 - 石田千絵が指名され、満場異議なく承認された。

1. 報告事項

1) 代議員選挙結果について

清水副理事長から資料 1 をもとに昨年度実施した代議員選挙の結果、選出された代議員が紹介された。

2) 令和3年度 一般社団法人日本在宅看護学会事業報告

清水副理事長から資料2をもとに令和3年度事業報告が行われた。

3) 第12回日本在宅看護学会学術集会準備状況について

、清水副理事長から資料3に基づき 2022 年 11 月 19・20 日開催予定の第 12 回学術集会の準備状況ついて説明された。

45

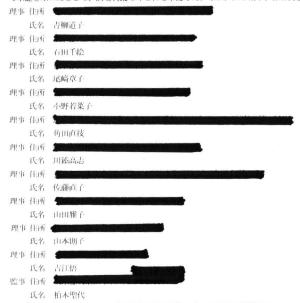
2 審議事項

1) (第一号議案) 令和3年度一般社団法人日本在宅看護学会決算報告及び監査報告

議長は当期(自令和3年4月1日至令和4年3月31日)における決算の状況を下記の資料4の一式を提出し報告するとともに、監事により監査の報告を行い、その承認を求めたところ、満 場異議なくこれを承認可決した。 ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財務諸表に対する注記 ・財産日録 ・監査報告書

2) (第二号議案) 役員の選任について

(第二号議案) 役員の選任について 議長は定款の定めに従い、任期満了に伴う理事の改選が必要となることを説明し、代議員の互選により理事・監事の候補者を資料 4 により報告した。議長が報告に基づき下記の 12 名につい て承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。なお、山本則子、推名美恵子を除く被選任者は、席上その就任を承諾した



3) (第三号議案) 指名理事の承認について

氏省 椎名美惠子

監事有所

更に、総会を中断し、理事による理事長(代表理事)の選定審議を行い、理事 山田雅舎が理事長に選定されたことが報告され、理事長より指名理事の候補者として下記3名の会員が提案さ れ、議長が承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した

指名理事	付打折		
	氏名	清水準 -	
指名理事	他听		
	几名	高砂裕子	
指名理事	住所	CONTRACTOR OF THE STATE OF THE	Editor Head
	15名	西村惠理奈	

4) (第四号議案) 第13回学術集会長の選任について

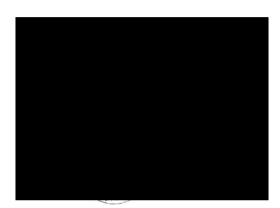
議長は、定款の定めに従い第13回学術集会長の選任が必要となることを説明し、理事会より理事 清水準 が推薦された旨を報告し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可 決した。

5) (第五号議案) 名誉会員の承認について

議長は、定款の定めに従い名誉会員の承認が必要となる旨を説明し、理事会より上野桂子、川村佐和子の両会員が推薦されたことを報告し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを 承認可決した。

議長は、以上をもって終始異状なく本日の議事を終了した旨を述べ、午後 5 時 55 分閉会した。 以上の決議を明確にするためこの議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

合和4年6月20日



議長・理事長 山田 雅子 (議事録作成者)

代議員

柏木 聖代

代議員

石田 千絵

聖代

【第2号議案】令和4年度 一般社団法人日本在宅看護学会事業報告

会員数 (2023年4月1日現在) 正会員 951

個人賛助会員3、団体賛助会員1、購読会員1、名誉会員2、寄贈5

1. 第 12 回日本在宅看護学会学術集会の開催

テーマ: 在宅看護のサステナビリティ

集会長:川添高志 (ケアプロ株式会社/株式会社エイチ・ユウ・ジー代表取締役)

日時: 2022年11月19日(土)・20日(日)

*オンデマンド配信期間:2022年11月19日(土)~2022年11月30日(水)17:00

場所・方式:中野サンプラザ、オンライン

参加者:参加申込総数 973 名[現地参加申込 401 名 (41.3%)、Web 参加申込 571 名 (58.7%)、学会員 304 名 (31.3%)、非会員 668 名 (68.7%)]

プログラム:教育講演 1、シンポジウム 6、パネルディスカッション 4、情報交換会 2、モーニングセミナー2、ランチョンセミナー4、一般演題 78(研究報告 53、実践報告 25)

2. 2回の学会誌発行

- ・学会誌第11巻第1号(令和4年8月)および第2号(令和5年2月)の発刊
 - 第 11 巻 1 号は原著論文 1 編・研究 3 編・資料 4 編・総説 1 編を掲載した。
 - 第 11 巻 2 号は第 12 回学術集会開催報告のほか、特別寄稿 2 編・原著論文 2 編・研究 4 編・ 資料 1 編・総説 1 編を掲載した。
 - 発行部数約 1050 部 (前年約 1000 部)
- ・投稿論文の増加に伴う、編集委員、査読委員体制の強化をおこなった。
- 3. 在宅看護学の発展に資する教育・研究の推進
- 第4回 E-learning (テーマ:『質的記述的研究の進め方』、講師:名桜大学大学院 グレッグ 美鈴先生)を12月9日にHPにて公開した。2023年4月20日現在で405回再生。
- ・第5回 E-learning (テーマ:『M-GTA の進め方』、講師:聖路加国際大学看護学研究科 木下 康仁先生)を2月13日にHPにて公開した。2023年4月20日現在で836回再生。
- ・研究倫理委員会を設置し運用を継続している。

4. 災害対策関連事業案の立案

・災害時に有用な情報について取りまとめを行い、2023年2月13日より学会ホームページから 公開を開始した。

- 5. 市民向け公開講座の開講
- ・市民公開講座「全ての人がその人らしい人生を一分身ロボットカフェ「DAWN」Ver. β と みかんぐみの紹介一」の開催(2022 年 11 月 19 日、学術集会会場・ライブ配信・オンデマンド配信)。
- 6. 診療報酬・介護報酬改定に向けた活動の開始
 - 一般社団法人看護系学会等社会保険連合(看保連)に入会し、担当理事が委員会活動への参加を 開始した。
- 7. 事務局体制の強化
- ・庶務担当理事を2名に増員し、事務局と会計の連携強化に取り組んだ。
- 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- <国内外の関連機関・団体との協力及び連携>

下記の関連機関に入会し、活動を開始した。

- ・一般社団法人日本在宅ケアアライアンス (2023 年度入会)
- •一般社団法人看護系学会等社会保険連合(看保連)(2022年度入会)
- ・日本看護系学会協議会(2022年度入会)

資料3



	前期甲込 (4/18-8/31)	後期甲込 (9/1-11/26)
会員	会員 8,000円	
非会員	10,000円	12,000 円
大学院生 / プレス	3,000円	3,000 円
学生	1,000円	1,000 円







日本在宅看護学会 HP

※オンライン参加可能

Facebook

日本在宅看護学会学術集会プログラム

11月19日土曜日

集会長講演

在宅看護のサステナビリティ

川添高志(ケアプロ株式会社)

パネルディスカッション/シンポジウム

8050 / 9060 時代に求められる在宅看護

ー複合的な課題を持つ家庭に対して、在宅看護は何ができるのか?ー

和気 純子 (東京都立大学人文社会学部人間社会学科)

酒井 直人 (中野区区長)

梅原 悦子 (中野区中野地域包括支援センター)

立石 愛 (中野区中部すこやか福祉センター)

福元 さくら (中野区中部すこやか福祉センター)

藤井多希子(中野区地域支えあい推進部)

地域包括ケアの進化を目指す働き方のサステナビリティ

濱田 安岐子(NPO 法人看護職キャリアサポート)

丸山 充帆 (株式会社アオアクア)

田母神 裕美 (公益社団法人日本看護協会)

藤野 泰平 (株式会社デザインケアみんなのかかりつけ訪問看護ステーション)

在宅医療の安全と危機管理ー暴言・暴力に立ち向かう事業所の運営ー

髙村浩(髙村浩法律事務所)

野々内美加(Langley Mental Health Substance Use Program Fraser Health, BC)

村田直子(公益社団法人兵庫県看護協会)

原子 英樹 (株式会社円グループ)

訪問看護の質一評価から質改善へ一

藤井 麻耶(厚生労働省老健局老人保健課)

山本 則子(東京大学大学院医学系研究科)

天野博 (AGO 株式会社みのり訪問看護ステーション)

大橋 奈美 (医療法人ハートフリーやすらぎ)

吉原 由美子 (一般社団法人全国訪問看護事業協会)

在宅看護のサステナビリティを高めるためのテクノロジー

富樫千代美 (鶴岡市立荘内病院)

遊間和子(株式会社国際社会経済研究所)

亀井 智子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)

小室 貴之 (株式会社楓の風)

ランチョンセミナー

訪問看護ステーションの採用について

共催 株式会社エス・エム・エス

生活者支援の視点で進化が求められること

共催 株式会社ストローハット

情報交換会

訪問看護事業承継ガイドラインと 事業承継事例

坪田 康佑 (一般社団法人医療振興会)

高丸慶(一般社団法人訪問看護支援協会)

新卒訪問看護師についてみんなの関心あるテーマで話し合おう!

ーきらきら訪問ナース研究会ー

山田 雅子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)

佐藤 直子 (東京ひかりナースステーション)

市民講座

全ての人がその人らしい人生を

ー分身ロボットカフェ「DAWN」Ver.β とみかんぐみの紹介ー

11月20日日曜日

教育講演

質的研究から捉える現象の世界 看護における質的研究のこれから

西村 ユミ (東京都立大学人間健康科学研究科)

パネルディスカッション/シンポジウム

地域の実情や工夫から考える

一支え合いながら暮らし続けるための地域のサステナビリティー

本田和也(独立行政法人国立病院機構長崎医療センター)

柏木 久美子 (福島県立医科大学 会津医療センター附属病院 奥会津在宅医療センター)

組織戦略から見る経営のサステナビリティ

中島朋子(株式会社ケアーズ東久留米白十字訪問看護ステーション)

藤野 泰平 (株式会社デザインケアみんなのかかりつけ訪問看護ステーション)

大串 優太 (株式会社 Footage)

金坂 宇将 (ケアプロ株式会社)

2022 年カリキュラム改定 地域・在宅看護論で何を変えるのか? 「どこを目指して、何を教えるか」「看護基礎教育に何を求めるのか」

冨安 眞理 (静岡県立大学大学院看護学研究科)

村山 浩代 (神奈川県立平塚看護大学校)

竹森 志穂 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科)

服部 絵美 (株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション)

樋口 秋緒 (社会医療法人北晨会 恵み野訪問看護ステーション「はあと」)

柏木聖代(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

山田 雅子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)

在宅看護の実践をサステナブルにする機能強化型訪問看護ステーション

福井 小紀子 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

吉澤 環 (南砺市民病院)

今井 めぐみ (社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団訪問看護ステーションけやき)

在宅看護の事業継続計画 (BCP) の重要性と展望

菅野 太郎 (東京大学大学院工学系研究科)

木村 浩美 (社会医療法人寿量会ホームケアサポートセンター)

川口 奏子 (在宅看護研究センター附属訪問看護ステーション)

酒井 美知子(メディカル・ハンプ訪問看護ステーション)

石田千絵(日本赤十字看護大学大学院看護学研究科)

ランチョンセミナー

多職種協働で支える栄養食事支援

共催 株式会社大塚製薬工場

健康増進プログラム Vitality を活用した健康経営のご提案

共催 住友生命保険相互会社東京東支社

モーニングセミナー

在宅看護の視点から考える「帯状疱疹」の予防の重要性

共催 グラクソ・スミスクライン株式会社

おくりびとが伝える看取り後にできること

共催 ディパーチャーズ・ジャパン株式会社

※上記は予定であり変更の可能性があります。

【第3号議案】 令和4年度 収支決算報告

法 人 名:一般社団法人 日本在宅看護学会

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位:円) 科 目 増 当 年 度 前 年 度 減 資産の部 1. 流動資産 現金預金 41,905,326 37,298,164 4,607,162 未収入金 512,000 392,000 120,000 流動資産合計 42,417,326 37.690.164 4.727.162 2. 固定資産 (1)基本財産 基本財産合計 0 (2)特定資産 特定資産合計 0 0 0 (3)その他固定資産 その他の有形固定資産 ソフトウェアその他固定資産合計 64,800 162,000 97,200 64,801 162,001 97,200 固定資産合計 64,801 162,001 97,200 資産合計 42,482,127 37,852,165 4,629,962 負債の部 1. 流動負債 未払金 338,539 154,300 184,239 前受金 92,000 24,000 68,000 預り金 8,000 8,000 244,239 流動負債合計 430,539 186,300 2. 固定負債 固定負債合計 負債合計 430,539 186,300 244,239 正味財産の部 1. 指定正味財産 指定正味財産合計 0 0 2. 一般正味財産 42,051,588 37,665,865 4,385,723 42,051,588 4,385,723 正味財産合計 37,665,865 42,482,127 負債及び正味財産合計 37,852,165 4,629,962

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

	_		(単位:円)
科目	当 年 度	前 年 度	増減
ᄳᅩᄔᄔᅔᄴᄰᄼᅁ			
一般正味財産増減の部 1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
受取会費	7,838,000	8,640,000	802,000
事業収益	11 071 616	4 054 000	7 400 646
学術集会事業収益 教育・研究事業収益	11,974,646	4,854,000	7,120,646
事業収益計	11,974,646	4,854,000	7,120,646
雑収益	,	,	,
受取利息	252	253	
その他雑収益 雑収益計	1,845,706 1,845,958	1,525,559 1,525,812	320,147 320,146
経常収益計	21,658,604	15,019,812	
(2)経常費用		.0,0.0,0.2	0,000,:02
事業費			
臨時雇賃金	107,200	170,019	
旅費交通費 広告宣伝費	364,683 574,403	19,740 592,600	
支払手数料	698,195	274,613	
業務委託費	4,201,847	2,867,835	
減価償却費	97,200	97,200	
賃借料	4,374,799	77,000	
通信費 消耗品費	467,617 332,123	292,698 69,860	
諸謝金	803,000	493,387	
会議費	942,873	53,145	
印刷製本費	1,509,939	1,968,980	459,041
雑費 事業費計	218,174	0 6,977,077	218,174 7,714,976
尹未貝司 管理費	14,692,053	0,977,077	7,714,970
臨時雇賃金	160,800	84,000	76,800
旅費交通費	1,040	760	280
広告宣伝費	75,900	49,500	
支払手数料 業務委託費	6,440 1,152,495	3,850 740,000	
減価償却費	0	0	412,400
賃借料	0	0	C
通信費	164,579	203,555	
租税公課 消耗品費	13,142	3,000 4,428	
月代印真 諸謝金	7,472 657,250		
会議費	0	0	
印刷製本費	0	0	-
貸倒償却	200,000	10, 220	
雑費 管理費計	71,710 2,510,828	18,330 1,673,373	
経常費用計	17,202,881	8,650,450	
当期経常増減額	4,455,723	6,369,362	1,913,639
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益 経常外収益計	0	0	C
(2)経常外費用		0	
貸倒償却	0	3,120,000	
经常外費用計	0	3,120,000	
当期経常外増減額 税引前当期一般正味財産増減額	4,455,723	3,120,000 3,249,362	
祝可削当期一般正味的佳垣減額 法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	4,385,723	3,179,362	1,206,361
一般正味財産期首残高	37,665,865	34,486,503	3,179,362
一般正味財産期末残高	42,051,588	37,665,865	4,385,723
指定正味財産増減の部 当期指定正味財産増減額	0	0	
当期指定近來於達場。 指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	C
正味財産期末残高	42,051,588	37,665,865	4,385,723

<u>正味財産増減計算書内訳表</u> 令和 年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

	T								(単位:円)
	公益目的事業会計								
科 目	学術集会開催	会誌等発行	教育・研究	研究倫理	健康福祉貢献	小計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益 受取会費									
会員会費収入							7,838,000		7,838,000
事業収益 学術集会収入	12,474,646					12,474,646		500,000	11,974,646
セミナー会費収入	, ,					, ,		,	0
受取補助金等 受取地方公共団体補助金									(
雑収益 受取利息	20					20	222		(252
雑収益	20 1,800,000					20 1,800,000	232 45,706		1,845,706
経常収益計	14,274,666	0	0	0	0	14,274,666	7,883,938	500,000	21,658,604
(2)経常費用 事業費									
臨時雇賃金	204 002		85,200		22,000	107,200			107,200
旅費交通費 広告宣伝費	364,683 508,403				66,000	364,683 574,403			364,683 574,403
支払手数料	694,975	1,590	1,140		490	698,195			698,195
業務委託費 減価償却費	3,959,847	242,000 97,200				4,201,847 97,200			4,201,847 97,200
賃借料	4,374,799					4,374,799			4,374,799
通信費 消耗品費	225,966 183,975	224,848 148,148				450,814 332,123			450,814 332,123
諸謝金	743,000	, -	60,000			803,000			803,000
会議費 印刷製本費	942,873 287,069	1,222,870				942,873 1,509,939			942,873 1,509,939
雑費	198,374	19,800	440.040		00, 400	218,174			218,174
事業費計 管理費	12,483,964	1,956,456	146,340	0	88,490	14,675,250		0	14,675,250
臨時雇賃金							160,800		160,800
旅費交通費 広告宣伝費							1,040 75,900		1,040 75,900
支払手数料							6,440		6,440
業務委託費 減価償却費							1,152,495		1,152,495 0
賃借料							404 000		0
通信費 租税公課							181,382 13,142		181,382 13,142
消耗品費							7,472		7,472
諸謝金 会議費							657,250		657,250 0
印刷製本費							000 000		000,000
貸倒償却 雑費							200,000 571,710	500,000	200,000 71,710
管理費計	40, 400, 004	4 050 450	140 240	0	00, 400	44 675 050	3,027,631	500,000	2,527,631
経常費用計 評価損益等調整前当期経常増減額	12,483,964	1,956,456	146,340	U	88,490	14,675,250	3,027,631	500,000	17,202,881
当期経常増減額	1,790,702	1,956,456	146,340	0	88,490	400,584	4,856,307	0	4,455,723
2. 経常外増減の部 (1)経常外収益									
経常外収益計							0		0
(2)経常外費用 貸倒償却								0	0
経常外費用計 当期経常外増減額							0		0
税引前当期一般正味財産増減額	1,790,702	1,956,456	146,340	0	88,490	400,584	4,856,307	0	4,455,723
法人税、住民税及び事業税 当期一般正味財産増減額	1.790.702	1,956,456	146,340	0	88,490	0 400,584	70,000 4,786,307	0	70,000 4,385,723
一般正味財産期首残高				<u> </u>			37,665,865	U	37,665,865
一般正味財産期末残高 指定正味財産増減の部	1,790,702	1,956,456	146,340	0	88,490	400,584	42,452,172	0	42,051,588
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高 正味財産期末残高	1,790,702	1,956,456	0 146,340	0	88,490	400,584	0 42,452,172	0	42,051,588
			,						

<u>正味財産増減計算書内訳表</u> 令和 年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

,									(単位:円)
			公益目的	事業会計					
科 目	学術集会開催	会誌等発行	教育・研究	研究倫理	健康福祉貢献	小計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産増減の部 1.経常増減の部 (1)経常収益 受取会費 会員会費収入							7,838,000		7,838,000
事業収益 学術集会収入 セミナー会費収入 受取補助金等 受取地方公共団体補助金	12,474,646					12,474,646	7,030,000	500,000	7,858,000 0 11,974,646 0 0
雑収益 受取利息 雑収益	20 1,800,000					20 1,800,000	232 45,706		0 252 1,845,706
経常収益計 (2)経常費用 事業費	14,274,666	0	0	0	0	14,274,666	7,883,938	500,000	21,658,604
臨時雇賃金 旅費交通費 広告宣伝費 支払手数料 業務委託費 減価償却費	364,683 508,403 694,975 3,959,847	1,590 242,000 97,200	85,200 1,140		22,000 66,000 490	107,200 364,683 574,403 698,195 4,201,847 97,200			107,200 364,683 574,403 698,195 4,201,847 97,200
賃借料 通信費 消耗品費 諸謝金 会議費 印刷製本費	4,374,799 232,687 183,975 743,000 942,873 287,069	230,449 148,148 1,222,870	3,361 60,000	1,120		4,374,799 467,617 332,123 803,000 942,873 1,509,939			4,374,799 467,617 332,123 803,000 942,873 1,509,939
雑費 事業費計 管理費	198,374 12,490,685	19,800 1,962,057	149,701	1,120	88,490	218,174 14,692,053		0	218,174 14,692,053
一							160,800 1,040 75,900 6,440 1,152,495		160,800 1,040 75,900 6,440 1,152,495
員旧符 通信費 租税私設費 消謝金 会議費 印刷製本費							164,579 13,142 7,472 657,250		164,579 13,142 7,472 657,250 0
貸倒償却 雑費 管理費計							200,000 571,710 3,010,828	500,000 500,000	200,000 71,710 2,510,828
経常費用計 評価損益等調整前当期経常増減額	12,490,685	1,962,057	149,701	1,120	88,490	14,692,053	3,010,828	500,000	17,202,881
当期経常増減額 2.経常外増減の部 (1)経常外収益 経常外収益計	1,783,981	1,962,057	149,701	1,120	88,490	417,387	4,873,110	0	4,455,723
(2)経常外費用 貸倒償却 経常外費用計							0	0	0
当期経常外増減額 税引前当期一般正味財産増減額 法人税、住民税及び事業税 当期一般正味財産増減額	1,783,981	1,962,057 1,962,057	149,701 149,701	1,120 1,120	88,490 88,490	417,387 0 417,387	0 4,873,110 70,000 4,803,110	0	4,455,723 70,000 4,385,723
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高	1,783,981	1,962,057	149,701	1,120	88,490	417,387	37,665,865 42,468,975	0	4,365,723 37,665,865 42,051,588
指定正味財産増減の部 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高 正味財産期末残高	0 1,783,981	0 1,962,057	0 149,701	0 1,120	0 88,490	0 417,387	0 42,468,975	0	0 42,051,588

法 人 名:一般社団法人 日本在宅看護学会

財務諸表に対する注記

- 1. 継続事業の前提に関する注記 継続事業の前提に重要な質疑を抱かせる事象または状況はない。
- 2. 重要な会計方針
- (1)固定資産の減価償却の方法 学会利用のソフトウェアについては、償却期間(5年)の定額法により処理している。
- (2)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- 3.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の有形固定資産	122,148	122,147	1
ソフトウェア	486,000	421,200	64,800
合 計	608,148	543,347	64,801

4.債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収入金	512,000	0	512,000
合 計	512,000	0	512,000

法 人 名:一般社団法人 日本在宅看護学会

<u>財産</u><u>目録</u> ^{令和 5年 3月 31日 現在</sub>}

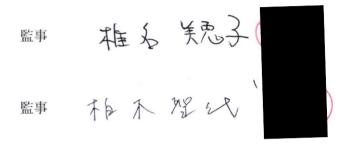
				(単位・)	<u> </u>
貸借	対 照 表 科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
	普通預金	みずほ銀行三鷹支店		25,749,	,256
	普通預金	ゆうちょ銀行	学術集会	500	,000
	普通預金	ゆうちょ銀行	会費管理	15,656,	,070
	未収入金	会員に対する未収額	会員会費	512	,000
流動資産合計				42,417,	,326
(固定資産)					
	その他の有形固定資産	事務局用パソコン			1
	ソフトウェア	Editorial Manager日本語版		64	,800
固定資産合計				64	,801
資産合計				42,482,	,127
(流動負債)					
	未払金	㈱アトラス	Editorial Manager利用料	52	,800
	未払金	一般社団法人学会支援機構	業務委託費他	190	,539
	未払金	梅崎 智子	3月分賃金	25	, 200
	未払金	千代田都税事務所 法人住民税		70	,000
	前受金	会員からの前受額	翌年度会員会費	92	,000
流動負債合計				430	,539
固定負債合計					0
負債合計				430	,539
正味財産				42,051,	,588

監査報告書

令和5年5月18日

一般社団法人 日本在宅看護学会 理事長 山 田 雅 子 殿

一般社団法人 日本在宅看護学会



令和4年4月1日~令和5年3月31日までに会計年度における会計及び事業の監査を 行い、次の通り報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 監査について、帳簿及びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を拝聴し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

【第4号議案】第13回日本在宅看護学会学術集会準備状況

テーマ:在宅看護すぐそばに在る

日時:2023 年 11 月 18 日(土)・19 日(日)

学術集会長:清水準一(東京医療保健大学)

場所・方式:クロス・ウェーブ船橋(千葉県船橋市),ハイブリット開催(予定)

・学術集会ホームページを作成し、学術集会に関する広報、参加募集・演題募集を開始している。



第13回日本在宅看護学会学術集会

在宅看護、すぐそばに在る

訪問看護の制度化から30年、全国に15000を超える訪問看護ステーションが開設され、 その活動も地域の中で多様化、多機能化し定着してきました。また、地域包括ケアシス テムの下、訪問看護以外の様々な場で働く看護職が幅広い年齢層、多様な状況にある在 宅療養者の支援を行う時代になりました。

このような在宅看護が、現在、質、量とともに十分にゆきとどき、必要とする人たち のすぐそばに在る状態なのか、そして少子高齢化が続く中で10、20年先もすぐそばに在 り続けられるのか。今、必要と思われることを幅広く取り上げてゆきます。

2023年11月18·19日(土·日)

会場: クロス・ウェーブ船橋

(千葉県船橋市)

※ハイブリッド開催なので、遠隔からも参加できます

学術集会長: 清水 準一

東京医療保健大学 千葉看護学部 教授(老年·在宅看護学)



参加費	前期登録	後期登録
登録期間	5/3~8/31	9/1~12/17
会員	8,000円	10,000円
非会員	10,000円	12,000円
大学院生/プレス	3,000円	3,000円
学生 (基礎教育課程)	1,000円	1,000円



詳細は学術集会ウェブサイトでご確認ください https://13th.janhc.jp/

第13回日本在宅看護学会学術集会事務局 〒273-8710 千葉県船橋市海神町西1-1042-12 東京医療保健大学千葉看護学部 清水準一研究室内 お問い合わせ office13@13th.janhc.jp



【第5号議案】 第14回日本在宅看護学会学術集会長の選任

理事会での審議に基づき、第14回日本在宅看護学会学術集会長に、岩本大希 代議員 (ウィル訪問看護ステーション)を選任する。

参考)

テーマ(仮):テーマ:テクノロジーとインクルージョンと在宅看護

日 時: 2024年11月予定

会場:東京(予定)

【第6号議案】令和5年度 一般社団法人日本在宅看護学会事業計画

- 1. 第13回日本在宅看護学会学術集会の開催
- 2. 2回の学会誌発行
- 3. 在宅看護学の発展に資する教育・研究の推進
- 4. 災害対策関連事業案の立案
- 5. 市民向け公開講座の開講
- 6. 事務局体制の強化
- 7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - ・国内外の関連機関・団体との協力及び連携

【第7号議案】令和5年度収支予算

令和5(2023)年度 日本在宅看護学会予算

又入の部	科目	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	根拠
1 会費収入	正会員会費収入	¥7,136,000	¥7,320,000	正会員973名(未納率6%)として算出20230228時点
	賛助会員会費収入	¥30,000	¥30,000	¥10,000×3名
	賛助団体会員会費収入	¥50,000	¥50,000	¥50,000×1団体
	購読会員	¥36,000	¥36,000	¥12,000×3か所
	倫理審査	¥30,000	¥30,000	1件見込み(研究倫理委員)
2 学術集会会費収入	入会費	¥9,070,000	¥8,040,000	会員(前期)¥1,600,000、会員(後期)¥2,000,000、非会員(前期) ¥2,000,000、非会員(後期)等¥2,400,000、大学院生・プレス¥30,000、 学部学生¥10,000
3 セミナー収入	参加費	¥0	¥0	予定なし(研修会委員)
4 雑収入	利息	¥200	¥200	R4から算出
	広告・出展・寄付収入	¥4,360,000	¥1,315,600	第13回学術集会予算案(広告¥320,000、展示¥320,000、ランチョンセミナー¥675,600) 、寄付なし
	共催助成		¥400,000	勇美財団¥400,000
	その他		¥1,350,000	宿泊費立替¥850,000、前渡金500,000
収入合計		¥20,712,200	¥18,571,800	
を出の部				
	科目			
0 特許	商標登録	¥0	¥0	該当なし
0 資金移動・前渡金	学術集会開催前渡金	¥500,000	¥500,000	
1 事業費	学術集会開催	¥12,606,655	¥10,306,575	会議費¥175,200、旅費交通費¥240,000、印刷費¥819,900、会場費¥2,439,250、通信費¥266,300、謝金¥220,420、賃金¥408,129、消耗品¥50,000、レンタル¥3,118,276、外部委託¥2,207,300、雑費361,800
	会誌等発行	¥2,000,000		学会誌発行¥2,000,000、編集作業一部委託¥500,000
	教育·研究	¥208,000	¥208,000	講師謝礼(3時間30,000円分×2回)、動画編集費用(1,200円×20時間×2回)、スタジオ撮影費用50,000円×2回
	研究倫理	¥30,000	¥40,000	予備審査2名、迅速審査2名(¥10,000×4)
	健康福祉貢献	¥166,190	¥213,700	事務作業人件費¥55,000(¥1100円/時間 * 50時間)、 諸謝金¥55,000、通信費・雑費¥33,700、 マニュアルアップデート¥70,000
	保健医療福祉政策	¥0	¥0	予定なし
	関連機関・団体協力連携	¥280,000	¥280,000	看保連¥80,000、看護系学会協議会¥100,000、 在宅ケアアライアンス¥100,000
	その他	¥0	¥0	該当なし
2 管理費	臨時雇賃金	¥144,000	¥180,000	梅崎氏 ¥1,200/時×25時間×6回(庶務)
	事務委託費	¥1,000,000	¥1,000,000	学会支援機構委託費(会員管理·事務局連絡窓口)(庶務)
	事務費(消耗品費・通信運搬費)	¥270,840	¥295,722	2023年度会員会費等郵送料 150,000円(見込み) その他、消耗品・コピー代, 庶務郵送料 40,000円、会計10,000 学会誌ラベル印刷(学会支援機構)50,000円 ドロップボックス15,840円, める配くん22,402円 理事選挙7,480円
	旅費交通費	¥10,000	¥10,000	理事会·総会等
	雑費	¥75,000	¥75,000	パソコンリサイクル¥5,000、レーザープリンタ廃棄¥10,000を含
	賃借料	¥50,000	¥50,000	総会・理事会の部屋代
	税務関係報酬	¥640,000	¥600,000	岡野税理士事務所¥600,000
	什器備品	¥0	¥0	該当なし
	租税公課	¥100,000	¥100,000	R4から算出
	広告宣伝費	¥200,000	¥620,000	ウェブサイトリニューアル¥600,000、 ドメイン・レンタルサーバー管理費¥20,000/年(広報)
	支払手数料	¥20,000	¥25,000	¥20,000(庶務)、¥5,000(会計)
	減価償却費	¥0	¥0	該当なし
	会議費	¥3,000	¥3,000	R4から算出
	印刷製本	¥40,000	¥0	
支出合計		¥18,343,685	¥17,006,997	
収支差額		¥2,368,515	¥1,564,803	